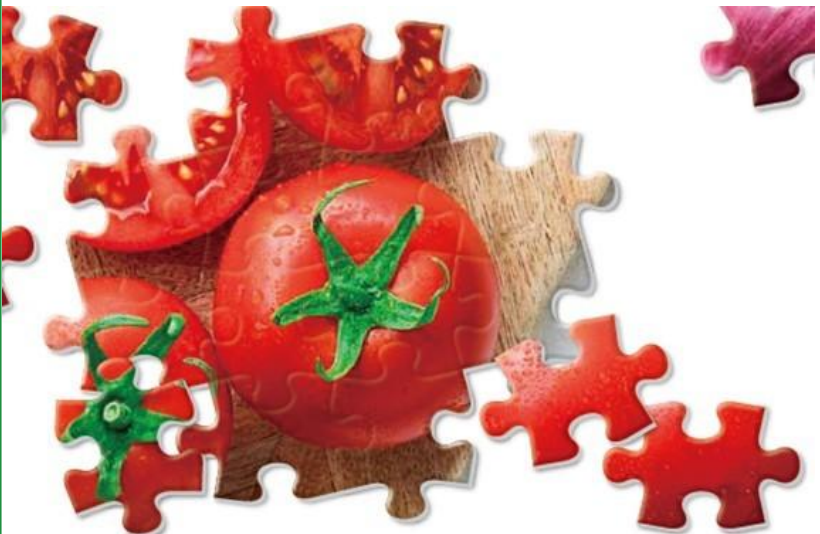




「野菜の日」Webシンポジウム

異業種の20社による 野菜摂取推進プロジェクト



カゴメ株式会社

鶴田 秀朗



＜内容＞

1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」
2. 異業種の20社による
「野菜摂取推進プロジェクト」

＜内容＞

1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」

2. 異業種の20社による
「野菜摂取推進プロジェクト」

1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」



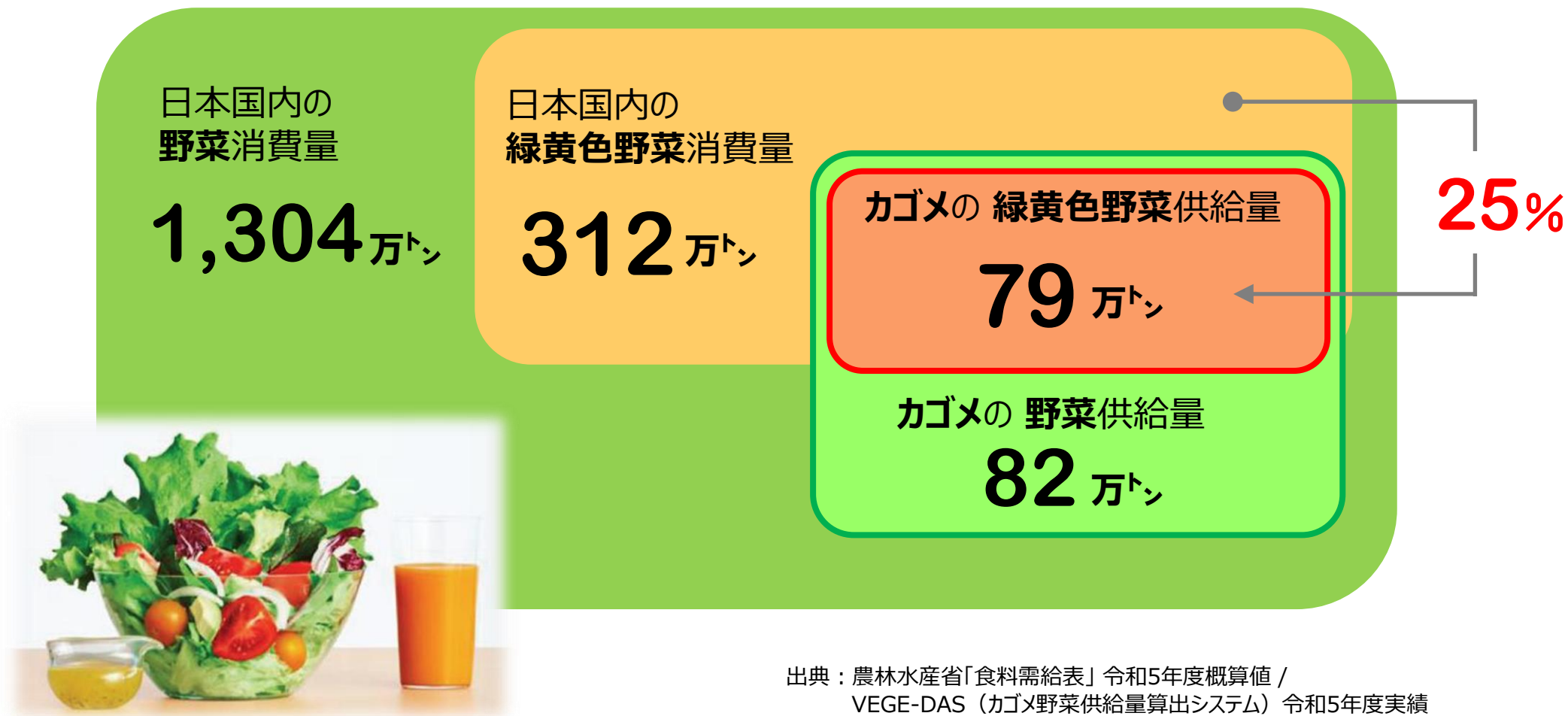
カゴメは野菜や果実など自然の恵みを活かした食品や飲料を製造・販売している会社です。



1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」



日本の**緑黄色野菜**消費量の**25%**をカゴメが供給しています。
(野菜全体※緑黄色+淡色野菜では6.3%を供給)



1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」



食を通じて社会課題の解決に取り組むことで成長を目指しています。



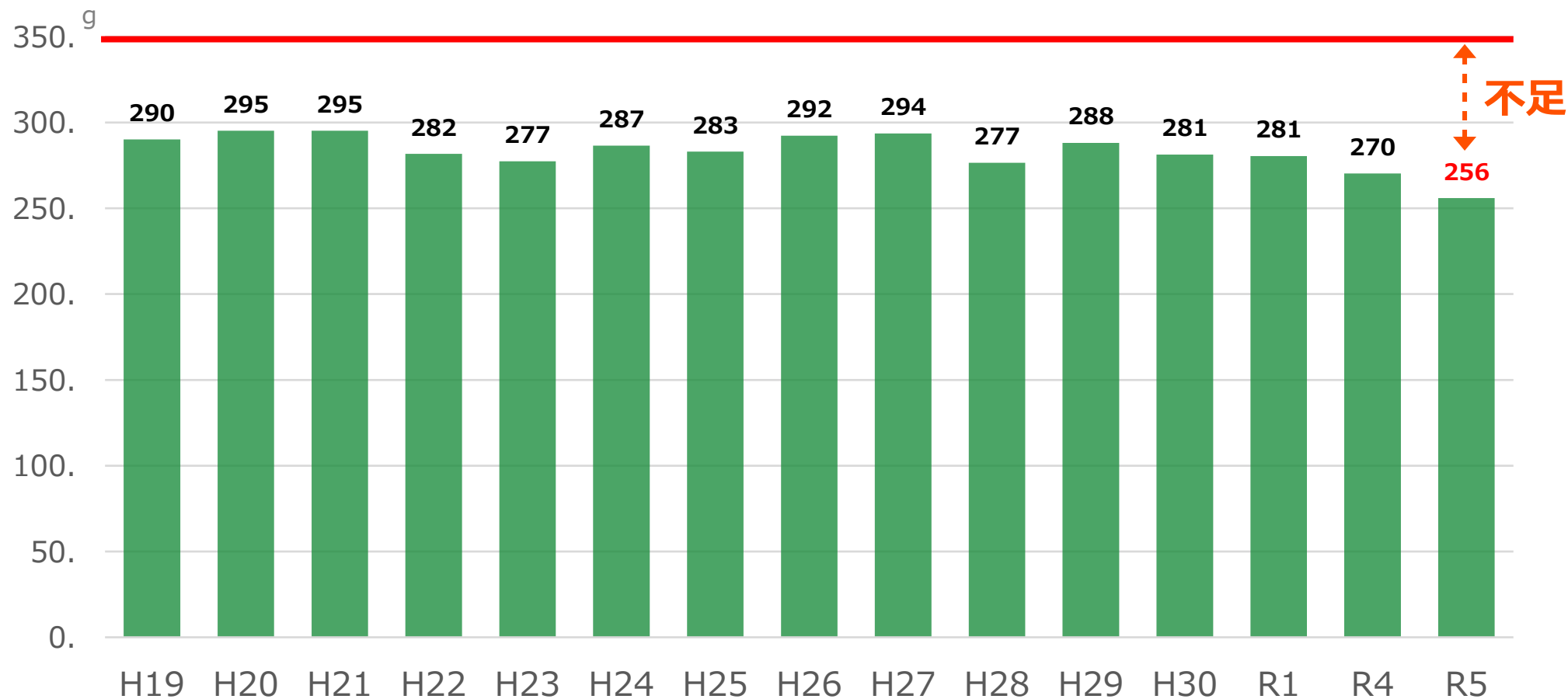
カゴメがこれまで培ってきたトマト・野菜、健康への知見を活かして、日本はもちろん世界が抱えるさまざまな社会課題の解決に貢献し、企業としての持続的成長を目指します

1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」



野菜摂取量は目標の1日350gに対し大きく不足しています。

◆野菜摂取量の平均値の年次推移（20歳以上）



1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」



2020年1月から「野菜をとろうキャンペーン」を開始しました。



自覚

野菜不足について自覚を促す

理解

なぜ野菜が必要なのか理解を促す

行動

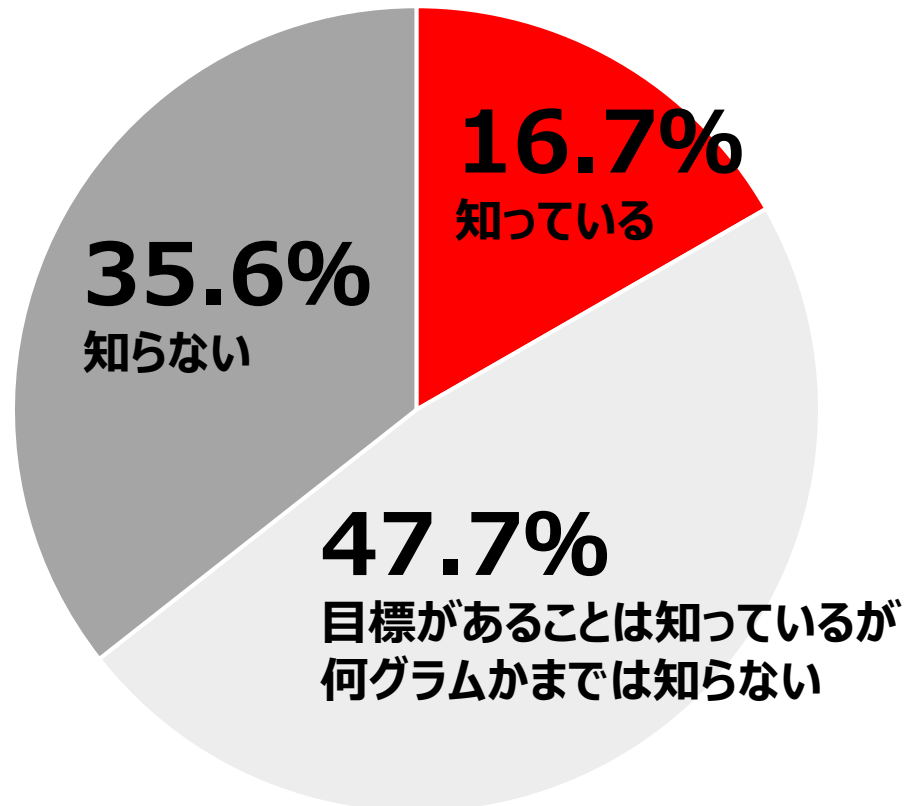
おいしく上手なとり方を伝える

1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」



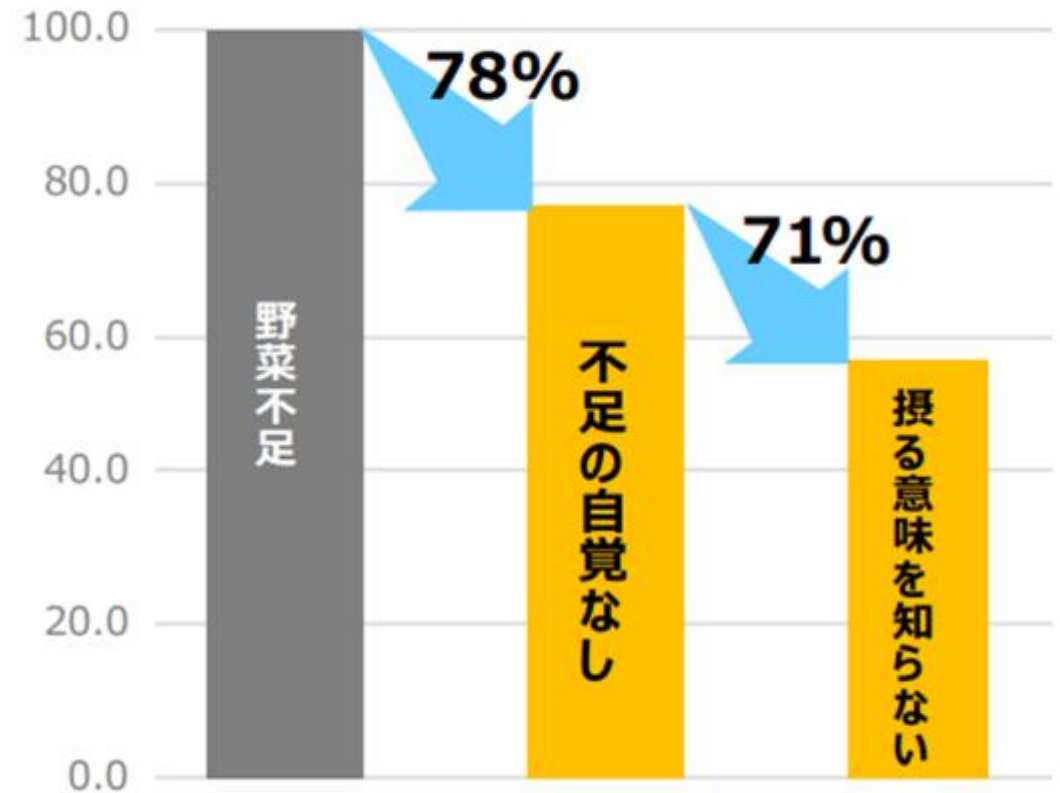
多くの人は目標量を認知しておらず、野菜不足の自覚もありません。

野菜摂取目標量350g/日を知っている割合



出典：マクロミル調査（n=1,236）2022年

野菜不足層の意識



出典：カゴメWEB調査（n=28,077）2018年

1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」

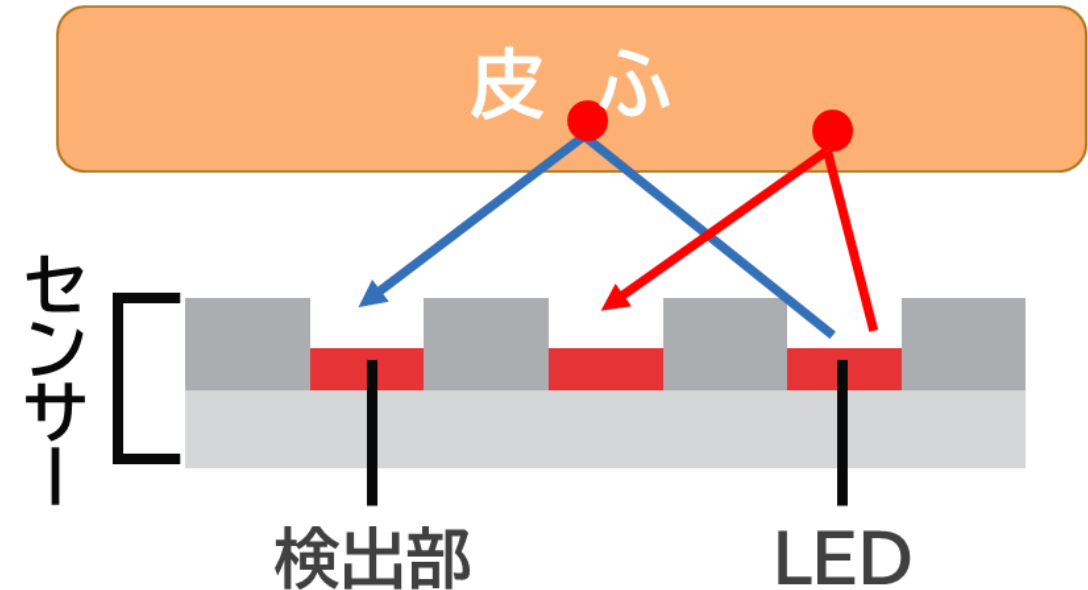


野菜摂取量の計測器「ベジチェック®」

カゴメとドイツの企業による共同開発



＜測定イメージ＞

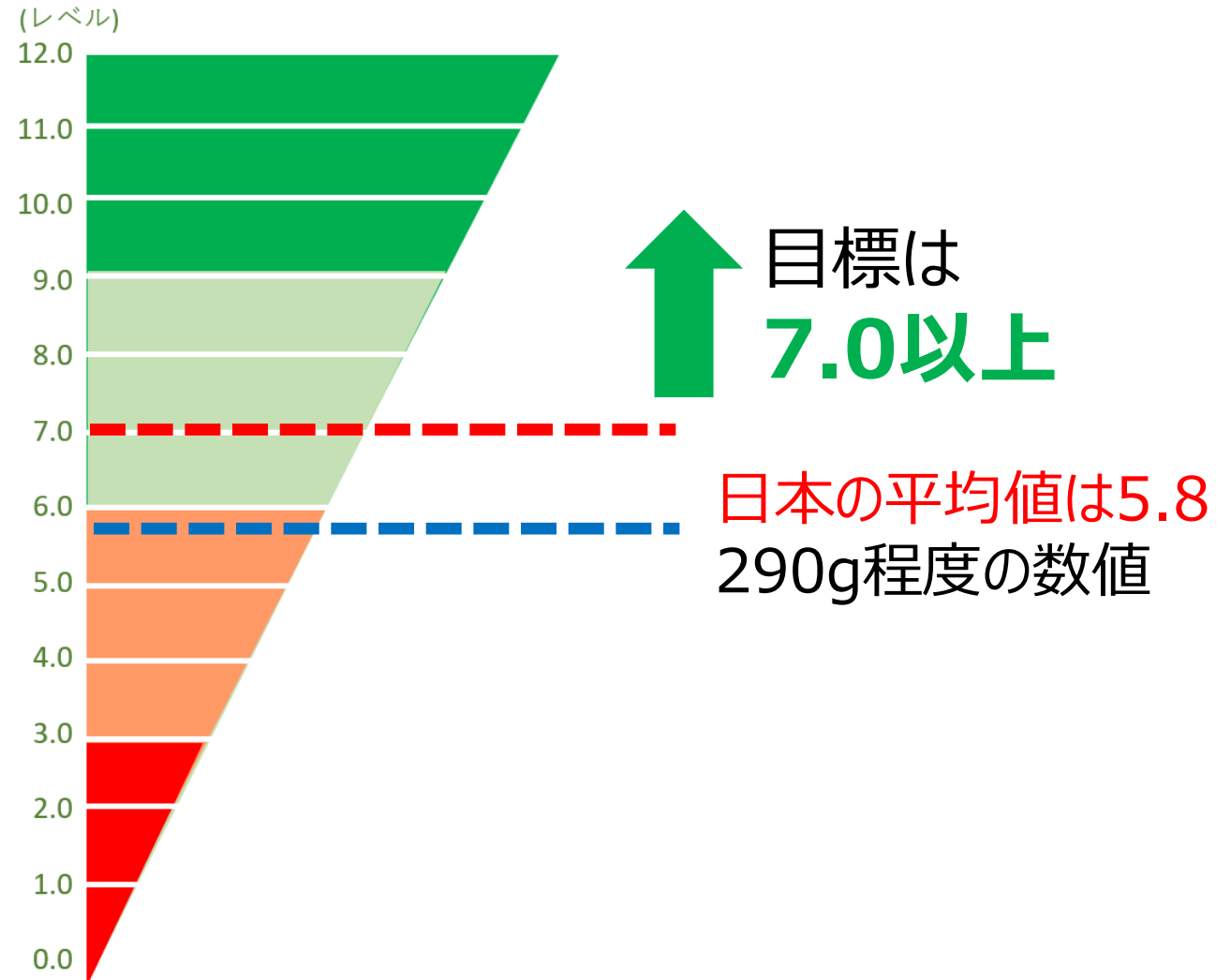


● = 野菜の色の成分
カロテノイド

1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」



2024年は年間700万回計測されました。平均スコアは**5.8**。



<内容>

1. カゴメ「野菜をとろうキャンペーン」

2. 異業種の20社による
「野菜摂取推進プロジェクト」

2. 野菜摂取推進プロジェクト



賛同企業20社



2. 野菜摂取推進プロジェクト



定期的に会議を行い、各企業で実施した施策を共有しています。

＜全体会議＞

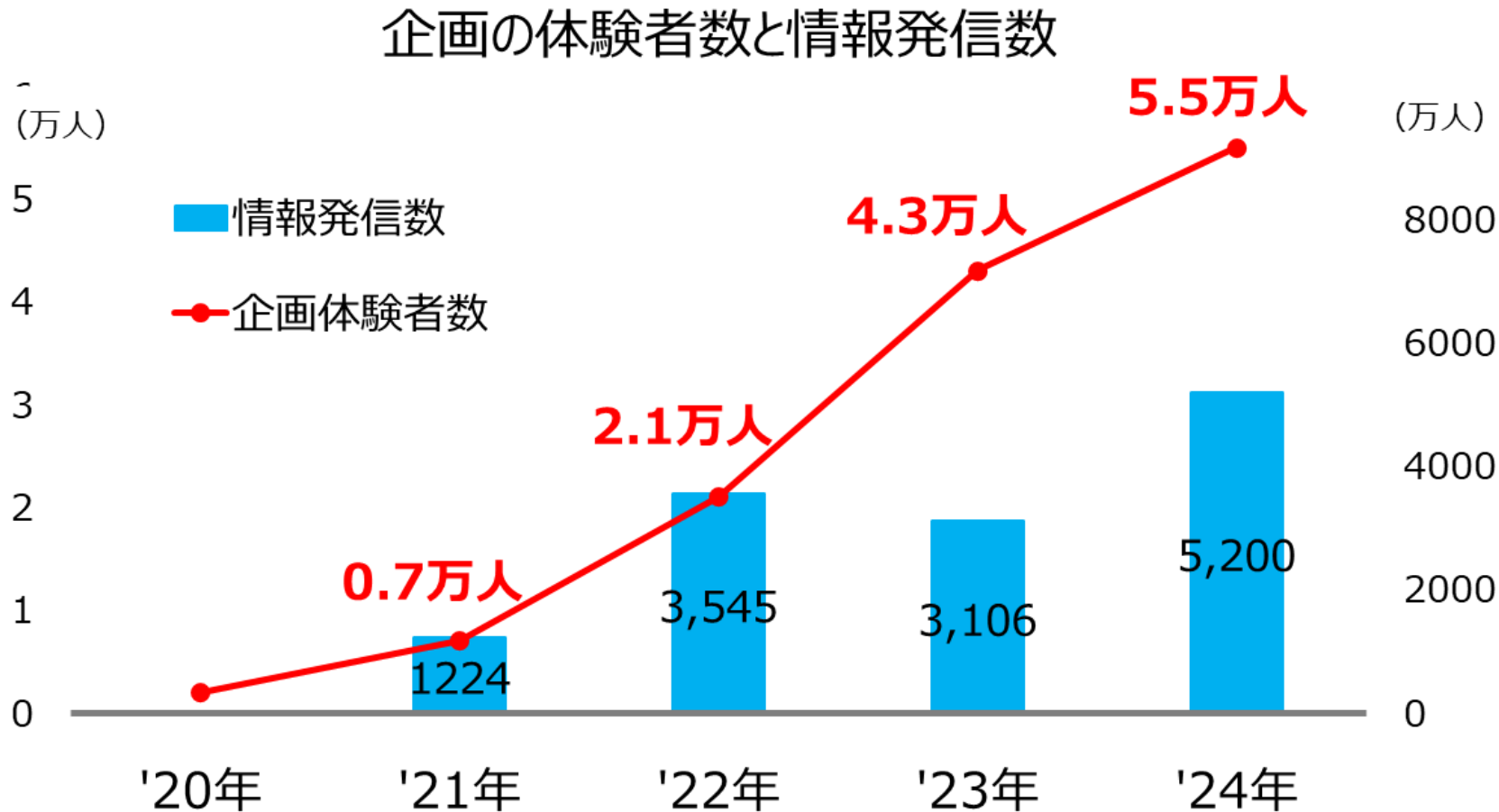


各企業の活動事例や年度方針の共有、懇親会による情報交換などを行っています。

2. 野菜摂取推進プロジェクト



「野菜好き」を増やす様々な企画を実施。'24年の体験者数は5.5万人。



育てる



調理する



知る・学ぶ



2. 野菜摂取推進プロジェクト



2025年 重点テーマ

①「ナトカリ」訴求による行動変容促進

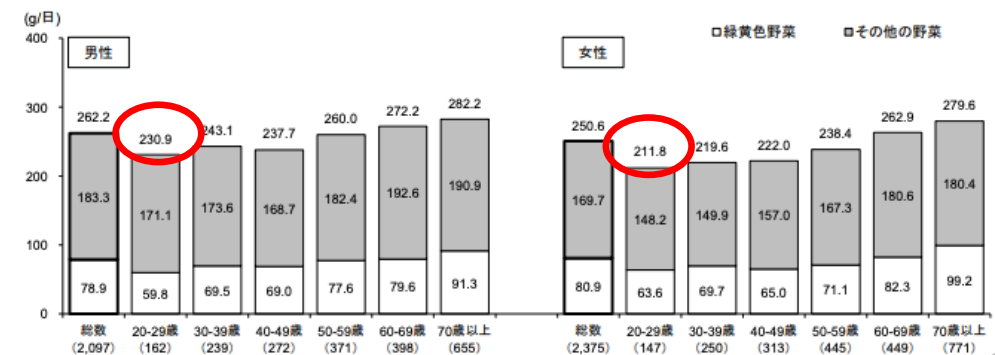
高血圧予防のため注目が高まる「ナトカリ」
は、野菜を摂る明確な理由になる。
→40～60代に積極的に訴求していく。



②若年層(20代)への働きかけ強化

20代は男性231g/日、女性212g/日と
きわめて少ない摂取量で、かつ減少傾向。
→20代社会人への意識づけに取り組む。

▼野菜摂取量の平均値 (g/日) 令和5年



2. 野菜摂取推進プロジェクト



野菜をとりようフォーラム（後援：厚生労働省・農林水産省）

野菜について楽しく学ぶフォーラムを開催し、内容を新聞広告で紹介しています。



ゲストによるトークショーと
武見ゆかり教授による講演



一般の招待客＋関係者
約350人が来場



8/31に新聞で広く紹介

2. 野菜摂取推進プロジェクト



「20代の野菜不足解消アイデアコンテスト」

応募対象者は学生(大学、大学院、専門学校)

賛同企業のリソースを活用



学生(大学・大学院・高等専門学校・専門学校)対象
「20代の野菜不足解消」をテーマにしたアイデアコンテスト

<https://yasaiwotorou-idea.com>



募集スタート	4月下旬～
応募締切り	8月31日(日)
一次審査結果発表	10月初旬
最終審査会・発表	11月18日(火)

2. 野菜摂取推進プロジェクト



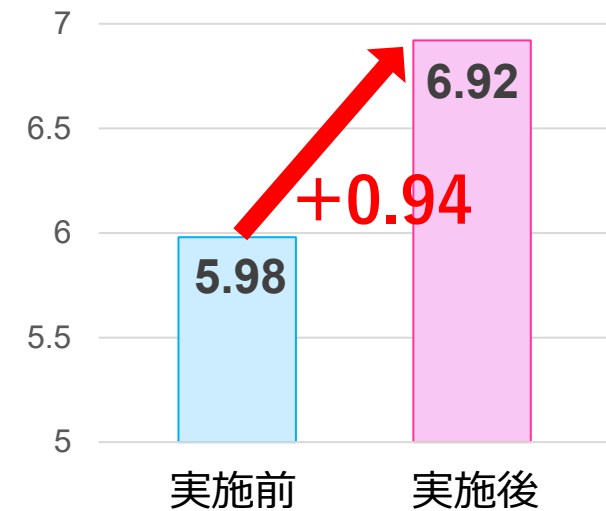
8 社対抗！「健康習慣 4 週間チャレンジ企画」

- ✓①ベジチェック(上昇幅)、②血圧計(計測回数)、③歩数計を競う対抗戦を実施(各社10名ずつ)。
- ✓参加者の**ベジチェック平均値は大きく上昇(+0.94)**。
73%の人が「今後も継続的に血圧を測る」と回答。

総合順位 (下記①～③の順位合計で決定)

総合 順位	会社名	野菜摂取 順位	血圧計 順位	活動量計 順位
1	タキイ種苗	2	1	2
2	ヤンマーマルシェ	1	4	4
	カゴメ	6	2	1
4	NEC	3	6	3
5	ANA X	7	2	7
6	全農	4	8	5
7	オムロン ヘルスケア	8	5	6
8	旭化成ホームプロダクツ	5	7	8

参加者全員のベジチェック平均値



2. 野菜摂取推進プロジェクト <活動事例>



■ ABCクッキングスタジオ

ABC Cooking Studio

野菜がおいしく楽しくとれる料理レッスン＋ベジチェック測定（'23年～）

- ✓基礎クラスのすべてのレッスンで、**1日に必要な野菜の半分量(175g)以上を使用。**
- ✓**全国80ヶ所**のスタジオに**ベジチェック**を設置。
おいしく楽しく野菜摂取を促進しています。



23年
(4～12月) 24年
(1～9月)
6.0 → 6.2

平均スコアと月間測定回数



2. 野菜摂取推進プロジェクト <活動事例>

■タキイ種苗、ヤンマーマルシェ

タネのタキイ

YANMAR
MARCHÉ



野菜が好きになる！「植育から始まる食育」イベント（'23年～）

- ✓4月：大阪・長居公園の農業体験施設『わくわくファーム』で、野菜を定植。
- ✓7月：収穫と調理体験会を実施。「苦手だったトマトが好きになった」と好評。

4月
定植

5～6月
栽培

7月
収穫・調理イベント



- ・カゴメから野菜の授業
- ・タキイ種苗のタネの授業



- ・野菜を定植して大事にお世話



- ・畑で収穫した野菜をその場で調理
（先生はカゴメのコーポレートシェフ藤原）

2. 野菜摂取推進プロジェクト <活動事例>

■ ANA（全日本空輸）



社員食堂で野菜たっぷりメニューフェア + 健康イベント（'22年～）

✓「野菜の日」を前に研修センターBlueBaseの**社員食堂**で「**野菜たっぷりメニュー**」を多数提供。

✓**ベジチェック測定**や野菜350gを当てる「目方でポン」、血圧年齢測定などを実施し健康習慣を訴求。

ANA公式Xで
イベントの様子を
130万人に配信



2. 野菜摂取推進プロジェクト <活動事例>



■ 旭化成ホームプロダクツ

AsahiKASEI
旭化成ホームプロダクツ

「トマトで冷凍貯金を始めよう！」 賢い野菜のとり方を訴求（22年～）

✓旬の安い時に大量に買って冷凍することで時間と栄養とお金
が貯まる「冷凍貯金」を訴求。

✓夏に嬉しいメニューも提案し野菜摂取を促進。Xキャンペーン
は応募2.1万件、コメント7千件をいただき、トレンド入り！



時間が貯まる



栄養が貯まる



お金が貯まる

フォロワーからたくさんの
嬉しいコメントが

#トマトで冷凍貯金

トマトの冷凍貯金始めてみたいです🍅

#トマトで冷凍貯金

トマトで冷凍貯金🍅🧊
初めて知りました...
すぐ実行します！🍅/



2. 野菜摂取推進プロジェクト <活動事例>



■オムロンヘルスケア

OMRON

トマトジュースと血圧計で健康習慣をはじめよう！キャンペーン（'23年～）

✓5月17日「世界高血圧デー」に合わせ、トマトジュースと血圧計で始める健康習慣を訴求。

✓Xのプレゼントキャンペーンは閲覧数101万回、2.5万件の応募、約9千件のコメントを頂き、トレンド入り。

▼新聞広告



【'25年5月の実績】 情報発信：計830万

Xフォロワー 61万

オムロンコネクト100万

X広告 51万

新聞広告 563万



更年期のせいかな
最近血圧高め📈で気になります。
血圧を計る習慣って大切ですね。
トマトジュースは毎朝ゴクゴク飲んでます🍅

たしかに
この組み合わせは
必須アイテムですね！
遺伝もあるし
私も始めようかな🍅🍅



2. 野菜摂取推進プロジェクト <活動事例>

■ 日本電気 (NEC)

社員食堂で「銚田フェア」+ ベジチェック測定会

✓ 社員食堂で銚田市産の野菜を使用したメニューを提供。野菜やメロンの販売も実施。

✓ ベジチェック測定会や野菜ソムリエプロの緒方湊さんによる「野菜セミナー」を実施し、野菜摂取を訴求。

✓ 実施するたびにベジチェックの平均スコアが上昇。

▼ NECライベックスによる魅力的なメニュー（'25年5月の一例）



銚田よろコブサラダ



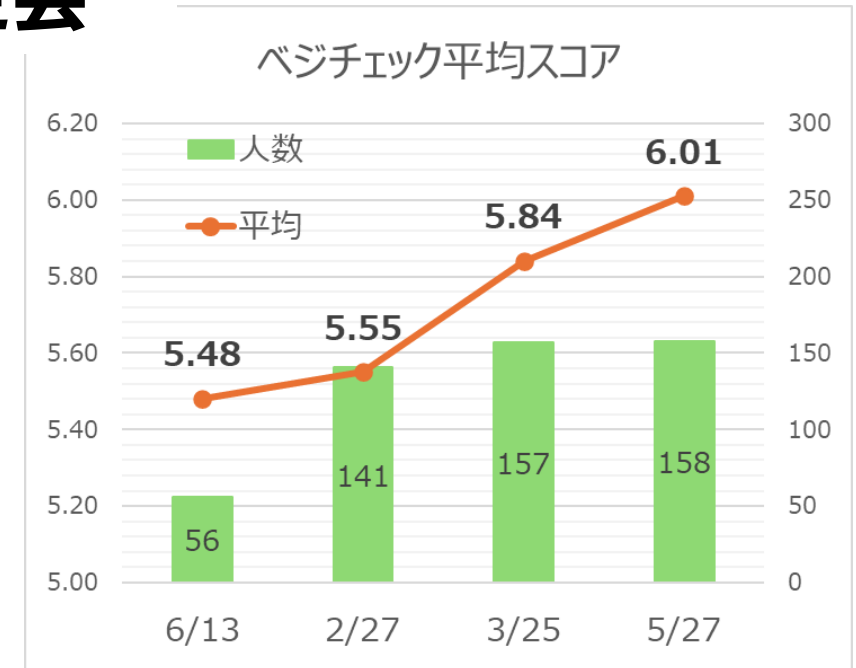
ほこたん冷しうどん



銚田の野菜ズキーマカレー

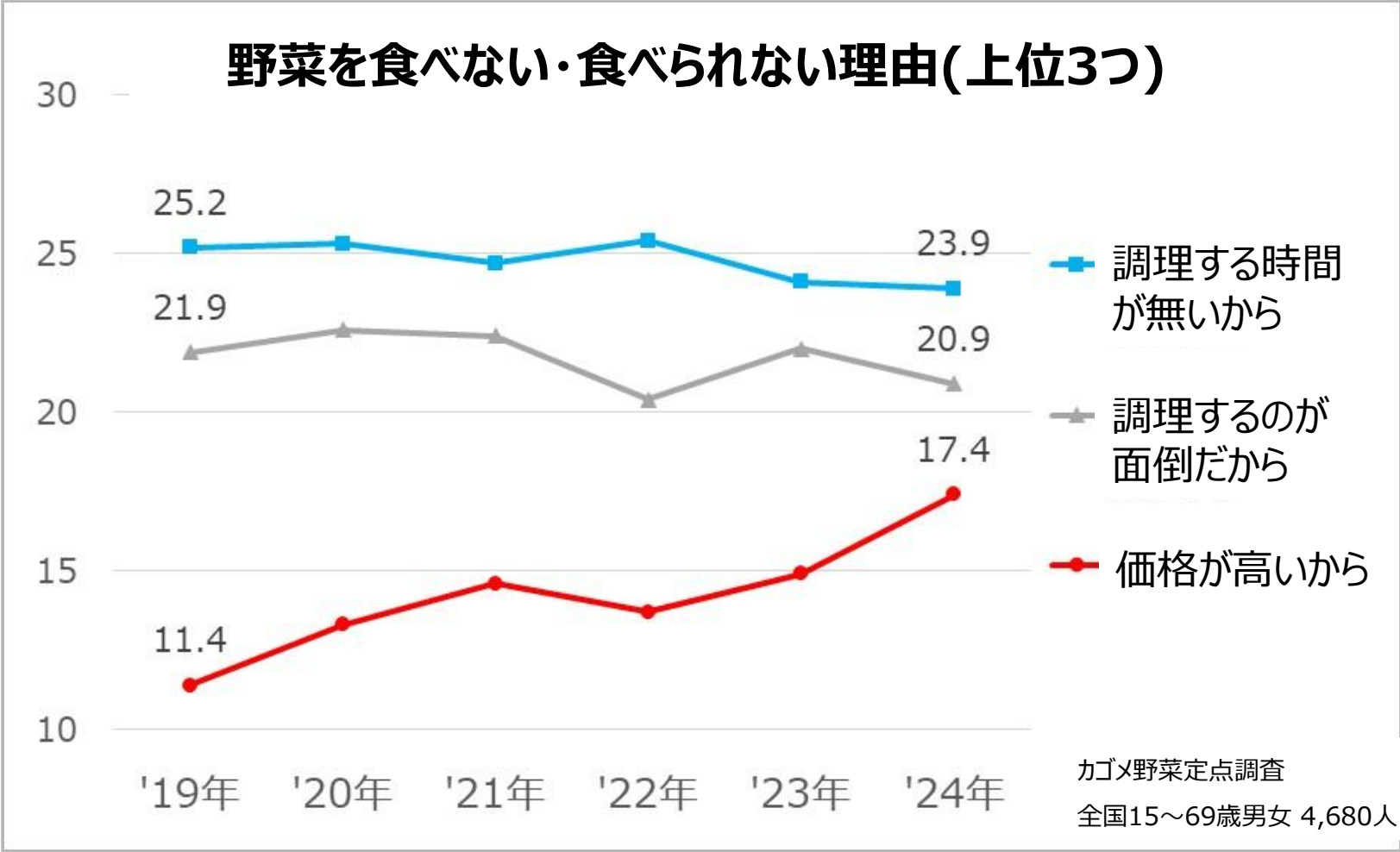
Orchestrating a brighter world

NEC





野菜を食べられない理由として「価格が高いから」が上昇中。



野菜を食べられない理由として「価格が高いから」が上昇中。



野菜の**価値と魅力**を高めることが必要

+

生活者に楽しく実感してもらうことが大切

野菜摂取推進プロジェクト 活動紹介サイト



<https://www.kagome.co.jp/statement/health/yasaiwotorou/project/>

